

事務事業名	社会教育事務事業			事業コード	10050105101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野
事業対象	坂井市市民全体				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	生涯学習事業として小規模な事業や、生涯学習全体を補助的に支援する事業です。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい知識と教養を身につける機会を広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造することを目的として生涯学習講演会、成人大学講座、大学開放講座を開講する。</li> <li>・坂井市の生涯学習・スポーツの冊子を作成し、今後の生涯学習・スポーツ事業を展開する上での資料とする。</li> </ul>				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況等を確認していきます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	坂井市の生涯教育・スポーツ関係の報告書を作成し、事業の検証をした。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	社会協委員の会にて、社会教育の課題等について調査および審議を行い、社会教育の推進を図る

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	510 千円	510 千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	794 千円	427 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	7 千円	29 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	14 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	290 千円	145 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,615 千円	1,111 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.40 人	2,844 千円	0.68 人	4,779 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.50 人	1,026 千円	0.30 人	758 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.90 人	3,870 千円	0.98 人	5,537 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		5,485 千円	6,648 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	216 千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		5,269 千円	6,648 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		5,485 千円	6,648 千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	生涯学習・スポーツについての報告書の充実を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	成人大学については、自主運営を目指していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	生涯学習・スポーツの報告書の充実を図ります。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成30 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	生涯学習・スポーツ報告書作成	目標値	1	達成率	1	達成率
		実績値	1	100	1	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	社会教育団体補助事業			事業コード	10050105106		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	茶谷 倫代		
事業対象	坂井市PTA連合会、(社)ガールスカウト日本連盟福井県第17・20団、日本ボーイスカウト福井連盟坂井第5、坂井市女の会、坂井市かるた協会						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	補助金事業（団体）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	社会教育団体の活動・運営を支援するとともに、組織の育成を行い、社会教育の推進を図っています。						
	社会教育団体に対し補助金を交付し、活動の支援・指導・育成を行います。 ・PTA連合会事業補助金 ・ガールスカウト育成団体運営補助金 ・ボーイスカウト育成団体運営補助金 ・女性の会運営補助金 ・かるた協会事業補助金						

すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向け進捗状況を確認していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて努めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,910 千円	2,010 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,910 千円	2,010 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.15 人	1,066 千円	0.19 人	1,335 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15 人	1,066 千円	0.19 人	1,335 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,976 千円	3,345 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		2,976 千円	3,345 千円	千円	千円					
財源合計	2,976 千円	3,345 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	補助が必要と認める社会教育団体について継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	運営が適正と判断される社会教育団体に補助していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	補助対象事業にのみ助成します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向け進捗状況を確認していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果 事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	%	目標値	33.3	達成率 33.3	達成率 33.3	達成率 33.3		
		実績値	24.6	73.87	27.0	81.08	24.3	72.97
活動 1人当たり自己負担金	円	目標値	10000	達成率 10,000	達成率 10,000	達成率 10,000		
		実績値	14,883	148.83	10660	106.6	14,176	141.76
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率	

事務事業名	市民運動推進事業			事業コード	10050115101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	齋藤 利香		
事業対象	坂井市民運動推進協議会会員・坂井市民運動に賛同する一般市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。						
	市民運動の優良実践者を表彰するとともに、子どもから大人まで気軽に取り組める花壇作りを推進し、花壇コンクールを行う。						

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	これまでの事業を継続していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	福井国体推奨花でのおもてなしに向けた花壇コンクールの実施や、地域の関係団体に活動の推進をお願いした。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	399 千円	363 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	399 千円	363 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.10 人	711 千円	0.12 人	843 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.90 人	1,847 千円	0.30 人	758 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.00 人	2,558 千円	0.42 人	1,601 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,957 千円	1,964 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,957 千円	1,964 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	2,957 千円	1,964 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	坂井市民憲章を広く市民に知らせるため継続して推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	これまでの事業を継続していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標値	300	300	300	300	
			実績値	398	132.67	90	30	185
活動	市民運動被表彰者数	人	目標値	15	15	15	15	
			実績値	7	46.67	11	73.33	11
活動	花壇コンクール参加団体数	団体	目標値	65	65	65	65	
			実績値	47	72.31	54	83.08	48
活動	花の種配布地区団体数	団体	目標値	170	170	180	170	
			実績値	120	70.59	127	74.71	102
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

事務事業名	公民館管理運営事業			事業コード	10050200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野正昭
事業対象	地域住民・コミュニティセンター職員				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	無	坂井市コミュニティセンター条例			
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換できる生涯学習の場を作り、地域の活性化を図る。				
	コミュニティセンターに関わる生涯学習支援を行う。 県公民館連合会が主催する各種セミナーにセンター職員を派遣し、生涯学習支援の知識や技能を学ぶ。				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	各種研修への積極的な参加を呼び掛ける。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	コミュニティセンター業務が多忙な中ではあるが、生涯学習の知識取得と技能向上のために、各種研修への積極的な参加を呼び掛けた。
中長期的に取り組むべき改善提案	コミュニティセンター職員の研修受講を通じて、生涯学習の活性化を図る。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	各種研修で受けた刺激を他の職員にも伝えつつ、新規講座の開催などに取り組み、生涯学習の活性化に取り組んだ。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費						
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度				
		報酬	千円	41,153	千円	千円	千円					
		委託費	千円	33,687	千円	千円	千円					
		需用費	7	千円	52,395	千円	千円					
		役務費	96	千円	4,740	千円	千円					
		その他	1,312	千円	12,270	千円	千円					
		事業費合計	1,415	千円	144,244	千円	千円					
	人件費	正職員	0.30	人	2,133	千円	1.12	人	7,871	千円	人	千円
		臨時職員	0.15	人	308	千円	0.00	人	千円	千円	人	千円
		人件費合計	0.45	人	2,441	千円	1.12	人	7,871	千円	人	千円
	総事業費	3,856	千円	152,115	千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	216	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	9,862	千円	千円	千円					
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円						
地方債		千円	千円	千円	千円							
その他		18	千円	1,520	千円	千円	千円					
一般財源		3,838	千円	140,517	千円	千円	千円					
財源合計	3,856	千円	152,115	千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	コミュニティセンターに移行後も、生涯学習の拠点として、職員研修に取り組みます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案	コミュニティセンター職員と連携を取りながら進めます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	教育振興基本計画に基づき、取り組みます。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	県公民館セミナー受講者数	目標値	24	達成率	達成率	達成率
		実績値	21	87.5		
活動	県公民館大会参加者数	目標値	24	達成率	達成率	達成率
		実績値	23	95.83		
活動	東海北陸公民館大会参加者数	目標値	2	達成率	達成率	達成率
		実績値	2	100		
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				



事務事業名	国際交流派遣事業			事業コード	10050400106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	渡航業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	国際理解教育の一環として、市内中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる人材を育成する。				
	【交流先】	英国 ウェールズ カーディフ市 プラスマウルコンプリヘンシブスクール他1校			
【参加者】	坂井市内の中学2年生を対象に参加者を募集し、選考により25人の団員を決定する。 (一次選考 作文、二次選考 面接)				
【引率者】	5人(団長、引率教諭2人、事務局2人)				
【派遣期間】	3月中の10日間				
【事前研修】	10回程度(語学研修、全体研修)				
【参加者負担】	200,000円×25人				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	事業費の増減により参加者負担金の見直しを行い実施していきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	事業費とバランスのとれた参加者負担金の確保に取り組みました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	英国派遣事業を通じて、国際理解教育の推進に取り組みました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	9,120	8,495	千円	千円	千円	千円		
		需用費	194	190	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	444	337	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	9,758	9,022	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.85人	6,043	0.63人	4,428	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.85人	6,043	0.63人	4,428	人	千円	人	千円
	総事業費	15,801	13,450	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		5,000	5,000	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		10,801	8,450	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	15,801	13,450	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	青少年の国際交流事業としてこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	事業費の増減により参加者負担金の見直しを行い実施していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	参加者の成長度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
成果	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
活動	参加者数	人	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率
			実績値	25	100	25	100	25	100
活動	事前研修の実施回数	回	目標値	14	達成率	14	達成率	14	達成率
			実績値	14	100	14	100	14	100
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	国際交流招聘事業			事業コード	10050400111
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	坂井市内在住の中学生およびその家庭				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	国際社会を生きる児童・生徒の資質向上を目指し、英国の交流先であるカーディフ市の生徒を招へいし、ホームステイや日本の学校生活の体験を通して、相互の生徒の国際的な視野を広める。				
	【期間】	平成27年6月30日(火)～7月8日(水)			
	【招へい者】	英国 生徒25人(男子6人・女子19人) 引率者6人 (ブルスマウルコンプリヘンシブスクールおよびカントニアンハイスクール)			
事業の目的・事業の概要等	【交流の内容】 ホームステイ・坂井市内の中学校での交流会と授業参加				

すぐにできる改善提案	より多くの市内生徒が英国招へい生徒と交流する機会を設けるよう受入れ校と協力して事業を進めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	事業開始後、初めて春江中学校で英国招へい団を受け入れていただくことができました。もう一つの受入れ校の三国中学校も含めて、受入れ校との連携を進めることによって、昨年と比べて多くの授業に英国生徒が参加することができました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき推進していきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	より多くの市内生徒達に国際交流の機会を提供することによって、国際理解教育を一層進めることができました。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,250	千円	1,190	千円	千円	千円		
		需用費	268	千円	265	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	5	千円	24	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,523	千円	1,479	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.55	人	3,910	千円	0.54	人	3,795	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.55	人	3,910	千円	0.54	人	3,795	千円
総事業費	5,433	千円	5,274	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	5,433	千円	5,274	千円	千円	千円			
財源合計	5,433	千円	5,274	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	青少年の国際交流事業としてこのまま実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	英国招へいの成果をより多くの生徒達に実感してもらえるように、今後も学校と連携し事業を進めます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき推進していきます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度			
成果	受け入れ家庭の満足度	家庭	目標値	25	達成率	19	達成率		
		実績値	25	100	19	100			
成果	受入れ校における派遣応募者増加率	%	目標値	5	達成率	5	達成率		
		実績値	7	140	3	60			
活動	受け入れ家庭への説明回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率		
		実績値	2	100	2	100			
活動	交流会への参加者数	人	目標値	80	達成率	60	達成率		
		実績値	72	90	53	88.33			
			目標値		達成率		達成率		
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		
			実績値						

事務事業名	子ども会育成事業			事業コード	10050500101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	藤田 恭平		
事業対象	市民（坂井市内の子ども「0歳児から高校3年生」、子ども会育成者・指導者、ジュニアリーダー・シニアリーダー）						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成連絡協議会会則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	<p>幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。</p> <p>「坂井市子ども会育成連絡協議会」を事業主体として、「坂井地区子ども会育成連絡協議会」や「各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブ」と連携・協力し、子ども会活動の支援や組織の育成を図ります。</p> <p>【坂井市子ども会育成連絡協議会の主な事業】 ・壁新聞コンクール ・ディスクドッチ大会 ・かるた大会 ・チャレラン大会 ・育成者研修会他</p> <p>【各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブの主な事業】 ・ディスクドッチ大会 ・ジュニアリーダー研修会 ・各単位子ども会活動の支援他</p>						
	<p>【事業の目的・事業の概要等】</p>						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	子ども会の指導者となるジュニアリーダーの育成に努めます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	県のジュニアリーダー研修会を企画・運営。未経験のことに取り組んだことによりジュニアリーダーの経験・自信につながりました。また、小学校5・6年生対象のわんぱく少年団の事業にも積極的に参加し、ジュニアリーダーの存在感を出し、小学生になりたいと思える環境作りができました。ジュニアリーダーの例会ではシニアや職員が出席し、育成に努めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	より安全で安心な子ども会活動を目指して、ドッジボール大会からディスクドッチ大会に内容を変更しました。競技の普及やルールを浸透させることは大変でしたが、大会参加者数は低学年を中心に増加し、初めての大会としては盛り上がったと思います。

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,138 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,138 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.20 人	1,422 千円	0.60 人	4,217 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.10 人	205 千円	0.10 人	253 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30 人	1,627 千円	0.70 人	4,469 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,765 千円	6,607 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,765 千円	6,607 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	3,765 千円	6,607 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	地域の子供会活動を支援し故郷を愛する心を育てるため継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
すぐに行ける改善提案	子供会の指導者となるジュニアリーダーの育成に努めます。	目標年度	平成29 年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。	目標年度	平成29 年度	

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	子ども会安全会加入率	%	目標値 62 達成率	62 達成率	62 達成率	62 達成率
		実績値	52.3 84.35	51.7 83.39	55 88.71	57.9 93.39
活動	専門部会の開催回数	回	目標値 4 達成率	4 達成率	4 達成率	4 達成率
		実績値	2 50	2 50	2 50	3 75
活動	育成者研修会参加者数	人	目標値 280 達成率	280 達成率	280 達成率	280 達成率
		実績値	230 82.14	251 89.64	213 76.07	218 77.86
活動	壁新聞コンクール出品数	点	目標値 160 達成率	160 達成率	160 達成率	160 達成率
		実績値	87 54.38	128 80	136 85	143 89.38
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			



事務事業名	成人式事業			事業コード	10050500106		
所管部署	生涯学習スポーツ課		電話	50-3162		記入者名	野澤 祐子
事業対象	年度内に20歳を迎える、市民および以前市内に住んでいたことのある人で参加を希望する人						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	新成人の門出を祝福するとともに、参加した新成人一人一人が成人したことを自覚し、これからの社会の中で自主的・協力的に行動するように促す。						
	広報紙・ホームページなどを通じて実行委員を募集し、新成人自らが実行委員となり式典やアトラクション、記念品などの企画・運営を行う。						
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費（実行委員謝礼、記念品ほか） 945千円</li> <li>○需要費（式典消耗品、食糧費、印刷製本費ほか） 187千円</li> <li>○役務費（郵便料、手話通訳派遣料ほか） 145千円</li> <li>○使用料及び賃借料（会場使用料） 142千円</li> </ul>						

すぐに行ける改善提案	現状（実行委員会方式）が妥当と考えます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	本年も実行委員会方式で行いました。委員会で委員たちが自由に意見を出し合い、準備を重ねた結果、本年独自の成人式を創ることができました。成人式大賞2016のアイデア賞も受賞し、実行委員の満足度も得ています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づいて取り組んでいきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	新成人で構成された実行委員会では、成人式の内容について、初めて会う委員もいる中で、委員同士で話し合い、その年独自の成人式に向けて準備をしています。最初はおとなしなかった委員も、制作物を取り仕切ったり、意見を出したり、式典で前に出たりと委員会にも変化が見られました。成人式当日の運営にも携わることで委員の積極性や自主性を養う場にもなっています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	168 千円	171 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	155 千円	132 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	974 千円	956 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,297 千円	1,259 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.81 人	5,758 千円	0.81 人	5,693 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.01 人	21 千円	0.01 人	25 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.82 人	5,779 千円	0.82 人	5,718 千円	人	千円	人	千円
総事業費	7,076 千円	6,977 千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	7,076 千円	6,977 千円	千円	千円					
財源合計	7,076 千円	6,977 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	成人となる自覚を促す式典として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	現状（実行委員会方式）が妥当と考える。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

成果	式典参加率	%	目標値	85.0	達成率	85.0	達成率	85.0	達成率	85.0
			実績値	81.6	96	80.1	94.24	80.9	95.18	79.1
活動	実行委員数	人	目標値	16	達成率	16	達成率	16	達成率	16
			実績値	16	100	13	81.25	16	100	16
活動	ホームページ・広報掲載回数	回	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6
			実績値	6	100	6	100	6	100	6
活動	ボランティア参加者数	人	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12
			実績値	9	75	9	75	9	75	9
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							



事務事業名	わんぱく少年団事業			事業コード	10050500111
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	
事業対象	坂井市在住の小学5・6年生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市青少年自然体験活動事業実施要項			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

坂井市および県内の自然の中で様々な体験を行うことにより、自立の精神を育み、その上で仲間とコミュニケーションをとりながら協力する大切さを学ぶ。また、坂井市の豊かな自然に触れ合うことによって、ふるさとを大切に作る健やかな心身を育成する。

坂井市内の小学校5、6年生30人を対象に募集し、スノーケリングやキャンプ、クロスカントリースキー、トレッキング、ウォークラリー、ディスクゴルフ、木工体験等、自然を通じた活動を年間10回実施した。

すぐにできる改善提案	現状どおり実施していきます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	2年目の団員にも真新しい内容となるよう、昨年度とは内容を変えて実施しました。サマーキャンプではたけくらべ広場を利用し、大自然の中でのサバイバルキャンプを通して自ら考えて発信するちからや仲間と積極的に協力のするちから等の醸成に努めました。そのほかにも自然の中で行うさまざまな体験活動を通して坂井市の新たな魅力を発見し、郷土に対する愛も育むことができました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	子どもの多忙化により、原則土日開催のわんぱく少年団には参加できない子どもが増えてきています。現に、ここ数年は目標の団員30人に達していません。また、職員の削減等により人員も慢性的に不足しており、年10回程度の活動を自分たちだけで継続していくのも難しくなっています。今後は活動日の変更や内容の見直し、外部講師の活用等も含めて検討していく必要があります。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	217 千円	200 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	22 千円	23 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	83 千円	105 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	322 千円	327 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00 人	千円	0.70 人	4,920 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00 人	千円	0.70 人	4,920 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	322 千円	5,247 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		81 千円	135 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	241 千円	5,112 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	322 千円	5,247 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	小学生の健全育成事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	地域のリーダーとして活躍できるよう実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
すぐにできる改善提案	現状どおり実施していきます。	目標年度	平成29 年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。	目標年度	平成29 年度	

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	参加者の満足度	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
		実績値	100	100	100	100	100	100
成果	募集定員（30人）に対する申込者数の割合	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
		実績値	93.3	93.3	93.3	93.3	93.3	100
活動	1回あたりの参加団員数の割合	目標値	90	達成率	90	達成率	90	達成率
		実績値			88.5	98.33	89.3	99.22
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【コスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	青少年育成坂井市民会議事業			事業コード	10050500116
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	
事業対象	青少年市内の青少年及び青少年育成指導者、ボランティア				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、青少年育成坂井市民会議育成事業事務要項			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年育成坂井市民会議を支援します。				
	<p>青少年育成坂井市民会議に対し補助金を交付し、健全な青少年を育成するための事業を実施します。同市民会議は公民館単位の23支部で構成し、総会・理事会において市民会議の活動方針を決定します。同市民会議では、「心の教育講演会」や青少年健全育成推進大会」等を中心とした事業を展開し、市全体の健全育成を推進します。各支部においては、地域の実情に応じた活動を行い地域の青少年の健全育成を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心の教育講演会…「地域の子どもは地域が守り育てる」との認識のもと、青少年の健やかな成長を願い、その環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むために講演会を開催する。</li> <li>青少年健全育成推進大会…青少年の健全な育成についての市民意識の高揚を図る。</li> </ul> <p>○青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円</p>				

すぐにできる改善提案	各支部の連携を図り推進していきます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	

【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【コスト】	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,126 千円	2,126 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	2,126 千円	2,126 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00 人	千円	0.35 人	2,460 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.15 人	379 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00 人	千円	0.50 人	2,839 千円	人	千円	人	千円
総事業費		2,126 千円	4,965 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	2,126 千円	4,965 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	2,126 千円	4,965 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	地道な活動であり継続していきことが必要です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
すぐにできる改善提案	各支部の連携を図り推進していきます。	目標年度	平成29 年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。	目標年度	平成29 年度	

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	賛助会員数	件	目標値	276	達成率	276	達成率	276	達成率	276	達成率
			実績値			147	53.26	252	91.3	177	64.13
成果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
活動	支部事業数	件	目標値	115	達成率	115	達成率	115	達成率	115	達成率
			実績値			107	93.04	113	98.26	118	102.61
活動	青少年健全育成推進大会来場者数	人	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
			実績値			153	76.5	235	117.5	184	92
活動	心の教育講演会来場者数	人	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
			実績値			83	41.5	79	39.5	108	54
活動	会長表彰被表彰者・被表彰団体数	件	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
			実績値			9	90	8	80	8	80

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業コード	10050500121
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	茶谷 倫代
事業対象	市内の小学生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	坂井市放課後子ども教室実行委員会
根拠法令	無				
根拠例規	有	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 他			
関連計画・マニュアル	有	坂井市子ども・子育て支援事業計画・放課後子ども総合プラン			

【事業の概要】

放課後や週末等に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

坂井市放課後子ども教室実行委員会に業務を委託し、主にコミュニティセンターを活動場所として学習補助、文化芸術体験、世代間交流など地域ボランティアの協力を得ながら、地域ニーズに応じた教室を実施する。

（補助率） 国 1/3 県 1/3 ※補助限度額あり

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行ける改善提案	適正なメニュー作りに取り組むとともに、児童クラブとの連携を図る。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	地域の実状に合ったメニューづくりに取り組んだとともに、長期休暇等を利用して児童クラブと連携した取り組みを行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、「放課後子ども総合プラン」の推進に取り組みます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	学校と地域が連携・協働して地域全体で子どもたちを育む体制づくりに向け、コミュニティセンターや家庭教育支援事業と共催したメニューづくりに取り組んだ。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,937	千円	3,915	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	3,937	千円	3,915	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.30 人	2,133 千円	0.30 人	2,108 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.10 人	205 千円	0.12 人	303 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40 人	2,338 千円	0.42 人	2,411 千円	人	千円	人	千円
総事業費	6,275	千円	6,326	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	2,415	千円	2,610	千円	千円	千円		
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	3,860	千円	3,716	千円	千円	千円			
財源合計	6,275	千円	6,326	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	地域で見守る事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	適正なメニュー作りに取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】	成果	事業実施教室数	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
			目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	26	達成率
	実績値	25	100	25	100	25	100	25	96.15		
	活動	子どもの参加者数	目標値	17500	達成率	17500	達成率	17500	達成率	19500	達成率
			実績値	14180	81.03	13751	78.58	14180	81.03	14552	74.63
	活動	実施回数	目標値	1250	達成率	1250	達成率	1250	達成率	1300	達成率
			実績値	970	77.6	1071	85.68	1233	98.64	1132	87.08
				目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値							
				目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		
			実績値								



事務事業名	合宿通学事業			事業コード	10050500126
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	坂井市内小学生4～6年生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	坂井市合宿通学事業実行委員会がすべて運営
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市合宿通学事業実施要項			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	<p>家庭を離れ、合宿生活を体験することで、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てることを目的としています。また、地域の方々の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図ることも期待できます。</p>				
	<p>社会教育委員からなる坂井市合宿通学事業実行委員会に事業実施を委託しています。</p> <p>【実施内容】 コミュニティセンターでの共同宿泊体験、調理、洗濯、食事の準備・後始末  【対象校・学年】 加戸小6年、明章小4年、春江東小4年、東十郷小4年  【実施期間】 雄島小が3泊4日、その他3校は2泊3日  【募集人数】 原則として各校40名定員  （宿泊公民館の立地条件や参加希望者数等から総合的に判断して決定）</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	きめ細やかな声掛けや指導を通じて、家族や周囲への感謝の心をはぐくみます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	コミュニティセンター、まちづくり協議会、教育委員会、学校などが連携して、より一層きめ細やかな声掛けを行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	集団生活を通じて、協調心や自立心、感謝の心を育成しました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,312	千円	1,342	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,312	千円	1,342	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.65	人	4,621	千円	0.84	人	5,904	千円
		臨時職員	0.10	人	205	千円	0.02	人	51	千円
		人件費合計	0.75	人	4,826	千円	0.86	人	5,954	千円
総事業費	6,138	千円	7,296	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	6,138	千円	7,296	千円	千円	千円	千円		
財源合計	6,138	千円	7,296	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	小学生の健全育成事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	きめ細やかな声掛けや指導を通じて、家族や周囲への感謝の心をはぐくみます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	参加者の満足度	%	目標値 100	達成率 100	目標値 100	達成率 100
		実績値 95.6	95.6	94.3	94.3	95.4
活動	参加者数 (目標値は参加校の対象児童数合計)	人	目標値 133	達成率 150	目標値 250	達成率 250
		実績値 110	82.71	146	97.33	160
			目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値	
			目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値	
			目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値	

【事業の成果】



事務事業名	坂井・延岡ジュニア交流事業			事業コード	10050500131		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	野澤 祐子		
事業対象	市民（小学5・6年生）						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	国際交流・地域交流の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容	無	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校5・6年生児童を対象に両市の名勝旧跡の見学や体験学習を通して人的交流を図る。						
	延岡市の小学生を坂井市に招聘し、両市の小学生と一緒に坂井市を体験します。（一年おきにお互いを訪問し合います。）						
事業の目的・事業の概要等	参加者 坂井市内の児童（5・6年生） 20人 坂井市PTA連合会 2人 事務局 2人						
	○報償費（記念品） 25千円 ○需用費（活動用消耗品費） 30千円 ○役務費（郵便料） 2千円 ○委託料（事業運営委託料） 1,300千円						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	市PTA連合会と連携して取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	市PTA連合会の役員・事務局と協力して実施したことで、連携して行う基盤ができてきています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	昨年も参加した児童が坂井、延岡両市ともに参加していたり、交流期間以降も手紙のやり取りをしていたりと交流が続いていると感じています。延岡に行くことになった児童が、延岡と坂井の歴史を調べたり興味を持ったりできたことも、両市を知るきっかけになりました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,155	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	30	千円	215	千円	千円	千円		
		役務費	2	千円	16	千円	千円	千円		
		その他	21	千円	469	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,208	千円	700	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.66 人	4,692 千円	0.66 人	4,638 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.66 人	4,692 千円	0.66 人	4,638 千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,900	千円	5,338	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	500	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	5,400	千円	5,338	千円	千円	千円			
財源合計	5,900	千円	5,338	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	有意義な交流事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	市PTA連合会と連携して取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	参加者満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	
			実績値	100	100	100	100	100
活動	参加者の事前研修の回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率	
			実績値	2	100	1	50	2
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

事務事業名	心の家庭教育支援事業			事業コード	10050505101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	茶谷 倫代
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域や学校との連携を強化し、子育て中の保護者と子どもたちへのより良い支援体制をつくり、市全体への家庭教育支援の拡充を図ります。				
	元教員、元保育士、子育て経験者である家庭教育支援チーム員による学校訪問の相談会、広報誌の発行、子育て講座や子育て懇談会を開催する。				
事業の目的・事業の概要等	<p>【平成27年度訪問校】（前年度の対象校など継続を希望する学校も訪問）</p> <p>三国地区：三国南、三国北、加戸、三国西小学校</p> <p>丸岡地区：高棕、平章、明章小学校</p> <p>春江地区：春江、春江東、春江西、大石小学校</p> <p>丸岡地区：東十郷、兵庫、大関、木部小学校</p>				

すぐに行ける改善提案	支援チーム員の人材を確保しながら取り組んでいきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	保育や教育現場の経験者を中心にチームを構成し、市内4地区に分かれて学校訪問による「子ども相談室」や「保護者懇談会」を開催した。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組めます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	学校行事等の機会を利用して、学校教育に関する学習・情報提供・情報共有の場を多く持つことができた。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	55 千円	46 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,053 千円	1,034 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,108 千円	1,080 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.30 人	2,133 千円	0.27 人	1,898 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30 人	2,133 千円	0.27 人	1,898 千円	人	千円	人	千円
総事業費	3,241 千円	2,978 千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	千円	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	3,241 千円	2,978 千円	千円	千円	千円				
財源合計	3,241 千円	2,978 千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	家庭教育を支援する事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状意志で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐに行ける改善提案	支援チームの人材を確保しながら取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

事業の成果	指標名		単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	成果	広報紙の発行回数	回	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	6	達成率
				実績値	5	125	4	100	4	100	4	66.67
	活動	家庭教育に関する学習・情報交換の機会の提供（子育て講演会・懇談会）	回	目標値	19	達成率	19	達成率	19	達成率	19	達成率
				実績値	12	63.16	11	57.89	6	31.58	9	47.37
	活動	年間の子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）	回	目標値	48	達成率	48	達成率	48	達成率	36	達成率
				実績値	50	104.17	50	104.17	59	122.92	59	163.89
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値									

事務事業名	愛護センター事業			事業コード	10050600101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野
事業対象	市内の青少年				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	坂井市青少年愛護センター条例			
根拠例規	有	坂井市青少年愛護センター条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	青少年の実態を把握し、非行防止と健全な育成を促進する。				
	<b>【非行防止】</b> 補導員による巡回・声かけによる早期発見 <b>【浄化活動】</b> 有害図書に関する調査・指導、白いポストの回収廃棄 <b>【相談業務】</b> 児童・生徒や保護者及び教師の相談業務 <b>【健全育成】</b> 懇談会、研修会の開催や地域との合同パトロール、啓発活動の実施 <b>【安全対策】</b> 青色回転灯装着車による巡回による見守り活動				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	各まちづくり協議会とも連携を図ります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	まちづくり協議会等と連携して、研修会などを開催しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	計画に沿って取り組んでいます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年愛護センター費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	315	千円	315	千円	千円	千円		
		需用費	770	千円	701	千円	千円	千円		
		役務費	102	千円	106	千円	千円	千円		
		その他	1,295	千円	1,173	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,482	千円	2,295	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.10	人	711	千円	0.20	人	1,406	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10	人	711	千円	0.20	人	1,406	千円
総事業費	3,193	千円	3,701	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	389	千円	391	千円	千円	千円		
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	2,804	千円	3,310	千円	千円	千円			
財源合計	3,193	千円	3,701	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	青少年を取り巻く環境に考慮し、事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐに行える改善提案	各町づくり協議会とも連携を図ります。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	一般補導員延べ出務回数	回	目標値	750	達成率	750	達成率	
			実績値	745	99.33	704	93.87	664
成果	少年等相談件数	件	目標値	150	達成率	200	達成率	
			実績値	81	54	84	42	268
活動	一般補導員延べ出務人数	人	目標値	1500	達成率	1500	達成率	
			実績値	1500	100	1407	93.8	1357
活動	白いポスト回収点数	点	目標値	1000	達成率	1000	達成率	
			実績値	1631	163.1	799	79.9	992
活動	会議・研修会開催数	回	目標値	10	達成率	7	達成率	
			実績値	7	70	13	185.71	7
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業		事業コード	10060105101	
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	野澤 祐子
事業対象	坂井市民・スポーツ推進委員				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	スポーツ振興法			
根拠例規	有	坂井市スポーツ推進委員に関する規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			
事業の概要	スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行い、市のスポーツ振興を図る。				
	<p>【部会内容】 スポーツ推進委員 46名          総務部会：委員の広報活動、総合型地域スポーツクラブの育成及び推進          事業部会：各種スポーツ行事、大会企画、運営及び指導          研修部会：市民、体育指導委員の資質向上に寄与する研修・講習会の企画</p> <p>その他、団体や地域からの依頼により、ニュースポーツ・体力測定・マリン体操の派遣指導・協力を行う。</p> <p>○報酬（スポーツ推進委員報酬） 1,472千円          ○旅費 (北陸地区委員研修会、全国大会) 198千円          ○需用費（啓発） 52千円          ○役務費（傷害保険料） 86千円          ○負担金（県協議会負担金、研修参加負担金他） 436千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	市民ニーズを踏まえ参加しやすいスポーツを推進していきます。	
目標年度 平成30年度		
取組状況	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室」（ニュースポーツ教室）を定期的に開催するほか、健康増進のためのウォークラリー大会やウォーキング大会を開催しています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。	
目標年度 平成30年度		
取組状況	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室」（ニュースポーツ教室）を定期的に開催するほか、健康増進のためのウォークラリー大会やウォーキング大会を開催しています。市体育協会と連携し、マラソン大会や市民スポーツ祭の企画立案に参画しています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	1,472千円		1,472千円		千円	千円	千円	千円
		委託費	千円		千円		千円	千円	千円	千円
		需用費	52千円		676千円		千円	千円	千円	千円
		役務費	85千円		84千円		千円	千円	千円	千円
		その他	769千円		307千円		千円	千円	千円	千円
	事業費合計	2,378千円		2,539千円		千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.41人	2,915千円	0.41人	2,881千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.41人	2,915千円	0.41人	2,881千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,293千円		5,420千円		千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	千円		千円		千円	千円	千円	千円
国県支出金		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
地方債		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
その他		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
一般財源	5,293千円		5,420千円		千円	千円	千円	千円		
財源合計	5,293千円		5,420千円		千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民の健康増進に向けてニュースポーツ等の普及に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持して事業を実施していきます。			
すぐにできる改善提案	市民ニーズを踏まえ参加しやすいスポーツを推進していきます。			
目標年度 平成29年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画の基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	スポーツ推進委員派遣指導依頼回数	目標値	25	達成率 25	達成率 25	達成率 25		
		実績値	31	124	32	128	23	92
活動	研修回数	目標値	6	達成率 6	達成率 6	達成率 6		
		実績値	10	166.67	9	150	8	133.33
活動	会議回数	目標値	25	達成率 25	達成率 25	達成率 25		
		実績値	25	100	26	104	26	104
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						



事務事業名	保健体育事務事業			事業コード	10060110101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	野澤 祐子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。				
	スポーツ振興審議会事業： スポーツ推進に関する重要事項について調査審議し、市教育委員会に建議する目的により設置されます。 各種協議会等負担金助成事業： 各種協議会等に対し、負担金助成を行っている。				
【事業の目的・事業の概要等】					

すぐに行える改善提案	坂井市体育協会と連携して取り組みます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	陸上競技場2種継続に向けて、平成28年度の改修後、検定を受ける。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	スポーツ振興審議会について、今後のあり方を検討する。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	97 千円	8 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	97 千円	8 千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.10 人	711 千円	0.10 人	703 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.10 人	711 千円	0.10 人	703 千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	808 千円	711 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円						
その他		千円	千円	千円	千円						
一般財源		808 千円	711 千円	千円	千円						
財源合計	808 千円	711 千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	継続して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	坂井市体育協会と連携して取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
	成果	陸上競技場2種継続検定の可否	目標値		達成率		達成率	
			実績値			---		
	活動	各種協議会負担金助成額	目標値	8000	達成率	9000	達成率	9000
			実績値	8000	100	8000	88.89	9000
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
				実績値				
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
				実績値				
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
				実績値				
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
				実績値				

事務事業名	国体推進事業 本庁（生涯学習スポーツ課）			事業コード	10060115101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	小嶋 馨
事業対象					
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	平成30年に開催予定の第73回国民体育大会に向けた準備を行う。 丸岡スポーツランドサッカー場の改修及びサッカー場施設の改修計画書を作成する。				
	国民体育大会に使用する施設の改修工事を実施する。 ・丸岡スポーツランドサッカー場改修工事 国体開催のサッカー会場に使用するため、サッカー場を国民体育大会施 ・丸岡スポーツランドサッカー場施設改修工事設計業務 丸岡スポーツランドサッカー場施設を国民体育大会で活用できる施設に		設基準に適合した改修工事を行う。 改修する設計業務を行う。		

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	国体推進課と連携して取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	丸岡スポーツランド管理棟の改修及び丸岡体育館の競技場照明をLED化しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	国体開催に向けて取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	平成28年度に丸岡体育館の床張替、三國体育館の耐震改修、三國陸上競技場の管理棟改修及びフィールド更新、多目的グラウンドの人工芝改修を行います。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	4,601千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	82,144千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	千円	86,745千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.78人	5,482千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	0.78人	5,482千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	千円	92,227千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	千円	37,901千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	37,901千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	36,000千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	千円	18,326千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	千円	92,227千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	国体開催に向け必要な施設整備を実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	国体会場となる施設を開催に必要な改修を実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	現状どおり取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	国体推進課と連携して取り組んでいきます。			
目標年度 平成30 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	国体開催に向けて取り組んでいきます。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	国体に使用する競技会場の整備	施設	目標値 2 達成率	1 達成率	2 達成率	達成率
		実績値	2 100	1 100	2 100	
		施設	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		施設	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		施設	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		施設	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ大会運営事業			事業コード	10060200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	野澤 祐子
事業対象	大会参加者・大会実施団体				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	大会運営事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			
事業の概要	誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。				
	<p>【生涯スポーツの推進】 市民の生涯にわたるスポーツライフの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリー</li> <li>・ニュースポーツ教室</li> <li>・坂井市古城マラソン</li> <li>・坂井市民スポーツ祭</li> </ul> <p>○需用費（大会消耗品費、食糧費） 109千円 ○役務費（傷害保険料） 27千円 ○委託料 4,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市古城マラソン 2,700千円</li> <li>・坂井市民スポーツ祭 2,300千円</li> </ul> <p>【市内で開催されるスポーツ大会の振興】 市内外のチームとの試合を通じ、技術・競技力の向上及び地域間の交流</p> <p>○補助金 765千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市古城カップサッカー大会補助金 665千円</li> <li>・坂井地区高等学校野球連盟事業補助金 100千円</li> <li>・古城グリーンロードレース大会事業費補助金</li> </ul>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	坂井市体育協会、スポーツ推進委員と連携しながら取り組みます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	5,000 千円	4,800 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	108 千円	120 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	26 千円	32 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	765 千円	905 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	5,899 千円	5,857 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.33 人	2,346 千円	0.33 人	2,319 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.33 人	2,346 千円	0.33 人	2,319 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	8,245 千円	8,176 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
国県支出金			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	2,197 千円		37 千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	6,048 千円	8,139 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	8,245 千円	8,176 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	より多くの人が大会に参加できるよう支援していきます。古城カップサッカー大会補助金の補助率の見直し、坂井地区高等学校野球連盟事業の補助対象経費の内容について見直しを行い改善していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状のとおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	坂井市体育協会、スポーツ推進委員と連携しながら取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数	目標値	4500	達成率 4500	達成率 4500	達成率 4500		
		実績値	3465	77	2161	48.02	3010	66.89
成果	坂井市古城マラソン申込者数	目標値	4000	達成率 4000	達成率 4000	達成率 4000		
		実績値	3621	90.53	3631	90.78	3809	95.22
活動	スポーツ推進委員会主管大会参加者数	目標値	150	達成率 200	達成率 200	達成率 200		
		実績値	152	101.33	88	44	67	33.5
活動	坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数	目標値	25	達成率 25	達成率 25	達成率 25		
		実績値	21	84	21	84	25	100
活動	坂井市古城カップサッカー大会参加チーム数	目標値	60	達成率 60	達成率 60	達成率 60		
		実績値	40	66.67	25	41.67	40	66.67
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の成果】



事務事業名	スポーツ振興事業			事業コード	10060200106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	野澤 祐子
事業対象	坂井市内在住の全国以上の大会出場者 学生については坂井市出身で坂井市に保護者が在住する出場者。坂井市体育協会、坂井市スポーツ少年団				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市全国スポーツ大会出場激励金支給要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。  
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体の活動に対して補助を行う。

【激励事業】  
予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督について、激励金を支給する。  
国民体育大会 10,000円/人  
全国大会 一般 8,000円/人、高校生以下 5,000円/人  
アジア大会 規模に応じ 30,000円以内/人  
国際大会 規模に応じ 50,000円以内/人  
高校野球・高校サッカー大会への参加校 1チーム500,000円

○報償費（激励金） 4,117千円  
○需用費（消耗品費） 8千円

【団体補助事業】  
各団体の年間活動に対して、補助金を支給する。

市体育協会運営補助金：  
坂井市市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を目的とする。また加盟30団体の競技種目の普及、発展及び競技力の向上を目的とする。  
○補助金 26,780千円

市スポーツ少年団運営補助金：  
各種スポーツ活動をはじめとし、野外・学習・奉仕活動や体力テストなどを通じて基礎体力を養うとともに健全な青少年の育成を目的とする。  
○補助金 4,000千円

スポーツ振興事業費補助金：  
坂井フェニックスサッカークラブの活動事業に対して支援し、市のトップチームとしてのチームづくりを図り、サッカーを通じて本市におけるスポーツの振興と青少年の健全育成に貢献することを目的とする。  
○補助金 1,000千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,200千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	8千円	5千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	37,097千円	35,485千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	38,305千円	35,490千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	38,305千円	35,490千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
国県支出金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	38,305千円	35,486千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	38,305千円	35,490千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	激励金支出人数	目標値	350	達成率 345	達成率 344	達成率 343		
		実績値	402	114.86	304	88.12	355	103.2
成果	体育協会加盟団体開催事業数	目標値	110	達成率 105	達成率 105	達成率 105		
		実績値	122	110.91	120	114.29	116	110.48
活動	国際大会出場者数	目標値	10	達成率 10	達成率 10	達成率 10		
		実績値	24	240	9	90	6	60
活動	国民体育大会出場者数	目標値	35	達成率 30	達成率 30	達成率 30		
		実績値	28	80	37	123.33	24	80
活動	スポーツ少年団加入員数	目標値	2000	達成率 2000	達成率 2000	達成率 2000		
		実績値	1693	84.65	1399	69.95	1475	73.75
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

すぐにできる改善提案	生涯スポーツの振興を図ります。
目標年度 平成28年度	
取組状況	平成30年の福井国体を見据え、体育協会や各種目協会と連携・協力し、生涯スポーツの振興、更なる競技力向上に努めている。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成28年度	
取組状況	体育協会やスポーツ推進委員会と連携・協力し、生涯スポーツの振興に努める。

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民のスポーツ振興のためこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状で実施していきます。			
すぐにできる改善提案	生涯スポーツの振興を図ります。			
目標年度 平成29年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29年度				

【事業の成果】



事務事業名	体育施設管理事業			事業コード	10060300101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	
事業対象	社会体育施設及び学校体育施設の開放				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	学校体育施設の管理運営
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市学校体育施設の開放に関する条例及び同施行規則、三国運動公園野球場広告掲載実施要領			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	スポーツ環境の整備充実を図るため、坂井市の総合計画と整合させながら、既存の体育施設が安全かつ安心して利用できるよう、施設の管理を図ります。				
	【学校体育施設開放事業】 小・中学校の体育施設を、学校行事に支障をきたさない範囲で開放し、市民の健康増進やスポーツの振興を図ります。また、利用者の利便性を考慮し、公益財団法人坂井市体育協会に事業を委託します。				
	【三国運動公園野球場有料広告事業】 三国運動公園野球場のグラウンドフェンスに有料広告を募集し掲載します。広告料は、市内体育施設の改修費用に充てます。				

すぐに行ける改善提案	施設の老朽化に対し計画的に指定管理者と連携して取り組みます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	指定管理者と協議し、安全性を優先に修繕業務を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、計画的な施設修繕に取り組んだ。

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当】 担当者評価	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円					
			委託費	6,235	8,957	千円	千円					
			需用費	146	392	千円	千円					
			役務費	383	384	千円	千円					
			その他	72,736	71,542	千円	千円					
			事業費合計	79,500	81,275	千円	千円					
			人件費	正職員	0.00 人	千円	0.64 人	4,498 千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.00 人	千円	0.64 人	4,498 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	79,500 千円	85,773 千円	千円	千円							
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	1,217 千円	千円	千円					
			使用料・手数料	1,519 千円	1,444 千円	千円	千円					
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
			地方債	千円	千円	千円	千円					
その他			7,226 千円	3,498 千円	千円	千円						
一般財源			70,755 千円	79,614 千円	千円	千円						
財源合計	79,500 千円	85,773 千円	千円	千円								

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民スポーツ振興のためこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状のとおり実施していきます			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	三国運動公園健康管理センター改修工事を予定している。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行ける改善提案	施設の老朽化に伴い計画的に指定管理者と連携して取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
学校体育施設利用者数		人	目標値	80,000	達成率	80,000	達成率	80,000	達成率	80,000	達成率
			実績値	80,264	100.33	82,550	103.19	72,899	91.12	70,197	87.75
学校体育施設開放対象校数		校	目標値	24	達成率	24	達成率	25	達成率	25	達成率
			実績値	24	100	24	100	25	100	25	100
広告料収入		千円	目標値	1,098	達成率	1,102	達成率	2,400	達成率	2,400	達成率
			実績値	1,098	100	1,098	99.64	2,213	92.21	2,400	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	体育施設指定管理事業			事業コード	10060300106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	龍田 一樹
事業対象	社会体育施設及び施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の運営及び維持管理
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則			
関連計画・マニュアル	有	指定管理者モニタリングマニュアル			
事業の目的・事業の概要等	指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を指定管理者に委託し、体育施設の適切な維持管理と利用促進を図ります。また、自主事業を開催し、市民のスポーツ活動を促進します。				
	市内44の体育施設の内、三国運動公園屋内温水プール、丸岡フィットネスセンター及び丸岡B&G海洋センターの3施設については、アクアスポーツ株式会社、残りの40施設については、公益財団法人坂井市体育協会が三国体育館、丸岡体育館、春江体育館、坂井体育館を拠点として施設の管理運営を行います。また、指定管理者は、モニタリングマニュアルに基づいたモニタリング等を実施します。				

すぐにできる改善提案	指定管理者と連絡を密にし問題があれば直ちに指導助言を行います。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	モニタリングマニュアルに基づき、指導・助言を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴い統廃合も含め計画的に修繕を行います。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	施設の老朽化と隣接するコミュニティセンターの改修に伴い、磯部テニスコートを廃止しました。春江水泳プールについては、破損や水漏れ等の老朽化により、本年度より開放を取りやめました。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費					
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	220,764	千円	220,764	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	220,764	千円	220,764	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.00	人	千円	0.93	人	6,536	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	千円	人	千円
		人件費合計	0.00	人	千円	0.93	人	6,536	千円	人	千円
総事業費		220,764	千円	227,300	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	5	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	220,764	千円	227,295	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	220,764	千円	227,300	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	効率的な管理運営を目指して取り組みます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	指定管理者と連絡を密にし、問題があれば直ちに指導助言を行います。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴い、統廃合も含め計画的に修繕を行います。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	指定管理体育施設利用者数	目標値	556,620	達成率 620,082	達成率 566,450	達成率 559,610		
		実績値	589,674	105.94	637,012	102.73	559,888	98.84
活動	指定管理者自主事業開催数	目標値	33	達成率 31	達成率 28	達成率 45		
		実績値	32	96.97	52	167.74	33	117.86
活動	指定管理者委託料	目標値	220,764	達成率 220,764	達成率 210,300	達成率 214,800		
		実績値	220,764	100	220,764	100	210,300	100
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の成果】